

ひろまる 広丸

二年前の最終行程を
 詳述せねばなるまい。
 大屋の高丸(たかまる)の
 手前に、ループ状の
 登り坂が口を開けてい
 る。「広丸(ひろまる)」
 と呼ばれる山地の入り
 口である。高丸とい
 広丸といい、この「丸」
 とは一体何を意味して
 いるのか。古代韓国語
 で「上(うえ)」とか
 「高所」を意味する言
 葉に「マラ」がある。
 「古代の人名に美称・
 尊称として使われてい
 るマラ(原文はハンゲ
 ル及びローマ字式発音

大屋一大森間の古道

③ 続往還を行く

おうかん

三井淳



広丸の山中

記号)は、摩 ある「六興出版完訳」という。「マラ」は
 離・馬裏・麻 三国史記下七五八頁注「高い」の原義から、
 立・莫離など 1 注解金思燁キムサ 「強さ」の義を帯びる
 の借音表記の ヨプ)。 ようになり、百姓称語
 3 ヨプ)。 ようになった。結局、

ほかに、上・夫・宗な 尾にも用いられた。「高丸」は「高い」の
 どの字も多く使われて 羅を代表する武人「異 「夫」の解字は「大」
 いる。語義は山・嶺の 斯夫」の「夫」につい に「まげ」を付けたも
 義から、宗・上・首の ての解釈である。つま のである。これは成人
 義に使われている。日 り、古代の新羅では、 男子を意味するから、
 本人名麻呂や、船名・ 「夫(ふ)」と書いて 元(もと)より「おと
 器物名の丸も同じ語で 「マラ」と訓じていた こ」(こと)なのだ。
 低い方」(岩波古語辞 典)と、「比較的、相
 対的に低い」の意
 味がある。広丸の
 山中は急峻で決し
 て低くはないが
 (写真)、高丸に対
 しては低いのであ
 る。

(五十猛歴史研
 究会委員 みづい・
 あつし)

日替わり連載コーナー

◇月曜日は島根県立図書館の「おすすすめ新書」
 ◇木曜日は内藤博之さんの「ガウディとピナ